男女共同参画推進連携会議 次世代とともに歩むチーム 第1回会合 概要

■日時：令和2年9月18日（金） 14時00分～16時00分

■場所：オンライン開催

■参加者：別紙のとおり

■議事

1. 本会議の活動趣旨について

○（塚越コーディネーター）

本日は誰かのセミナーを聞いて情報をシェアする、というよりは議員の皆様それぞれご知見をいただきながらご議論いただくことをメインにしたい。

2. グループディスカッション 1 ～アンコンシャスバイアスが出現している場面とその影響について～

○各グループのコーディネーターより、ディスカッション内容を発表。

（グループ④：林議員）

女性が管理職なりたがらないのは、上司が女性は求められていないと言うから、男性は育休取得率が低いなど、一般的なバイアスが多かった。

解決策としては、例えばマミートラックの話をするときは併せてダディートラックの話をするなど、女性を主語にして物事を考えるときには併せて男性を主語にもしてみること。

また、働き方改革に関して、現状労働時間は月単位ではなく、1日単位で規制をかけることで多様な働き方を推進できるのではないか。

（グループ③：小安議員）

女性は食べさせてもらうことが幸せという偏見。また、いろいろな制度は存在しているが、利用できていない。男性がリードし、女性は結婚することが最大の幸せ。女性には期待しないというバイアスが女性にも男性にも存在しているのではないか。

（グループ②：永嶋議員、国保議員）

育休後の女性のうち、どのような女性がパフォーマンスを上げていくのかという分析で、「プロアクティブ(=受け身ではない)」な人は、育休後も活躍をするということがデータとして見えてきている。このプロアクティブは、女性の初期のキャリア（やりがいや経験）などにより強化されていくということが示唆されている。出産後の女性の活躍を望むのであれば、初期キャリアでの育成が大事。初期キャリアで女性にはあまり仕事を任せないような上司になってしまうと、このプロアクティブネスが獲得できず、活躍も限られてしまう

（グループ①：塚越議員）

士業の女性比率は 2 割を切っている、そもそも受験者が少ない公認会計士はグローバルクライアントは大変だから女性に任せない傾向、しかし女性登用を積極的に行う動きがある。税理士、行政書士はあまりそういったことはない。

士業は全員資格を持っているはずなので、男女差があるということはバイアスが働いていて、先ほどの国保議員の話ともつながるが、いかに若いうちに経験・やりがいをつむか、上司への教育をするかが重要。

3. グループディスカッション 2 ～アンコンシャスバイアスが原因で生まれる影響に対する改善アクションの検討～

○各グループのコーディネーターより、ディスカッション内容を発表。

(グループ①：塚越議員)

意思決定層の女性比率が少ないのは構造上の問題がある。地方の役員は東京に集まらなければならないことが月に何回もあり、ハードルになっていたが、リモートが進めば解決につながる。

東京に仕事をしに集まる傾向があるが、地方は女性の人材が不足しているので、東京に住んでいても地方の理事になってもいい、という構造になれば大きく状況が変わるのではないかな。弁護士などではクォーター制が進んでいるが、別の角度でのアイデア、

出産・子育てでのキャリアの中断が起こる。そのため、子育てをもっと外注できるような仕組みにするべき、特に地方にはサービス自体がなかったりするので、国の支援等でサービスを充実させるといい。

(グループ②：永嶋議員)

気づきを得るために、個人で意識を持つだけでなく、組織として研修やトレーニングとの場を設けることが必要。個人だけが意識を持っていても、会社がそれを支援しなければならない。会社を動かすためには、なぜ研修が必要かを理解してもらえなければならない。会社としてのブランドを高めることができる、というアプローチをすることが重要。

(グループ③：小安議員)

男性女性ではなく、人間としてとらえられるといい。女性のロールモデルを表出していくことが望ましい。どれだけ次世代に自分の体験を繋いで行けるかが重要。

女性起業家にも相談相手を探すことが難しいという課題がある。男性上司や幹部を教育する仕組みを作っていきたい。

アメリカでは大手企業が購買調達をするときに 50%女性起業家にしろということがありますが、そういったドラスティックな取組が必要。

(グループ④：林議員)

女性自身が経済力を持つことが重要である。自分で稼ぐのは当たり前なのに、なおざりになっている。女性は自分の好きな仕事をやったらいい、ではなく稼ぐ仕事をやらなければ、という思考になるといい。

ジョブディスプリクシオンができていないため、前例のない女性リーダーを選ぶことができない。今は男性が物事を決めている世界になっているため、女性が生きていくのが大変。家庭・職場においても女性がトップをとっていくことが大事。

家事について、アウトソーシングを引け目を感じずに利用し、デジタルトランスフォーメーションを家事の中でも促進できるとよい。国としても、デジタル庁ができるなら、デジタルの観点で女性の立場を改善するための方策を省庁横断して考えていく機会があるとよい。

■まとめ

(塚越コーディネーター)

業界同士での連携などをこの会議をとおして、具体的なアクションが出てくるととてもよい。

次の会議では、今回会議のあとの具体的行動が聞けるといいと思う。
連携したい団体等、要望や手伝ってほしいことがあれば、事務局に伝えていただければよい。

9/18 連携会議経済チーム ディスカッショングループ(確定版)

(敬称略)

グループ①	塚越 学	特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン 理事	有識者議員
	三上 広美	全国女性税理士連盟会長	団体推薦議員
	坪川 貞子	日本行政書士会連合会常任理事	団体推薦議員
	鈴木 真紀江	日本公認会計士協会 常務理事	団体推薦議員
	杉田 明子	日本弁護士連合会男女共同参画推進本部事務局次長	団体推薦議員

グループ②	永嶋 悦子	株式会社オリエンタルランド 理事	有識者議員
	国保 祥子	静岡県立大学 准教授/株式会社ワークシフト研究所 研究所長	有識者議員
	長谷川 裕治	一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会専務理事	団体推薦議員
	國分 佐恵子	特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク事務局長	団体推薦議員
	大山 瑞江	一般社団法人日本経済団体連合会ソーシャル・コミュニケーション本部長	団体推薦議員
	伊岐 典子	21世紀職業財団 会長	団体推薦議員

グループ③	小安 美和	株式会社Will Lab 代表取締役	有識者議員
	松永 幸子	ハロー 代表/一般社団法人女性起業家スプラウト 代表理事	有識者議員
	市瀬 優子	日本商工会議所・全国商工会議所女性会連合会会長	団体推薦議員
	下村 朱美	公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会	団体推薦議員
	三輪 敦子	認定特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会副理事長	団体推薦議員

グループ④	井上 拓磨	株式会社はたらクリエイト 代表取締役	有識者議員
	林 裕子	山口大学大学院技術経営研究科 教授(特命)	有識者議員
	平松 昌子	認定特定非営利活動法人日本BPW連合会理事長	団体推薦議員(代理出席)
	清塚 典子	公益財団法人日本YWCA運営委員	団体推薦議員
	富澤 由子	女性参政権を活かす会共同代表	団体推薦議員
	吉村 美衣子	一般社団法人日本ヒーブ協議会代表理事	団体推薦議員